

計測機器専門の老舗メーカー

お客様と二人三脚でよりよいものを  
50年超のノウハウで満足度120%へ

総合計装

## ハンドル操舵角力計



市販のステアリングホイールにトルクや角度の検出機構を組み込むことにより、走行・停止中のハンドル操舵トルク、角度、角速度を検出するための電気信号を外部に出力する計測器

総合計装（本社：世田谷区経堂、代表取締役：小嶋慶一／横山浩行、横須賀工場：04668364477、<http://www.sohgohkeiso.co.jp>）は、抵抗線ひずみゲージ応用のセンサーおよび増幅器の製造販売を行っている。1968年に創業、計測機器専門メーカーとして横須賀に工場を置き、お客様の要望に応えるために日夜開発に取り組んでいる。

国内外問わず幅広く市場を展開しながら、少量多品目の試作品や研究開発品を得意分野とし、自動車や鉄道、工場、発電所などさまざまな場所で、いくつもの特許製品や実用新案をお客様とともに取得してきた同社の技術力は高い評価と信頼を得ている。

製造している製品はハンドル操舵角力計やロードセル、トルク変

換器など私たちが普段目にすることはないものばかりだが、こうした計測機器はものづくり大国日本で暮らす人々の生活を根幹から支えていると言っても過言ではない。製品の価格についても、依頼内容に沿って1個数万円のものから100万円を超えるものまで多岐にわたり、既製品にはない柔軟な対応ができるのも同社の強みである。

「50年以上の経験を重ねてきたからこそお客様のニーズに応えることができ、よりよいものをつくり出すことができる」と、横須賀工場責任者でもある横山代表取締役は自信を覗かせる。めざすのはお客様の要望に対し、100%を超えた満足を得てもらうこと。同社は現状に甘んじることなく、さらなる高みを追求していく。